



山や崖、川や水路には

① 大雨が降ったら

② 地震が起きたら

場所身を寄せる

答えはこちらから

防災

① すぐに

② 大きな声で

③ 必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら


誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

交通ルールを守りましょう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、なるのか、日頃から考えておこう。

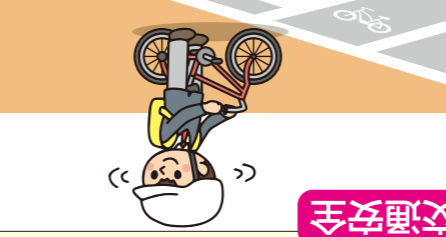
を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なもの

歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも



防犯

交通安全



交通安全

3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

防災

まとめると... 地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所


大雨

- 河川敷や水路沿い
- 崖の近く

地震

- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 古びていたり、高さのあるブロッコリー塀の側

例えば...

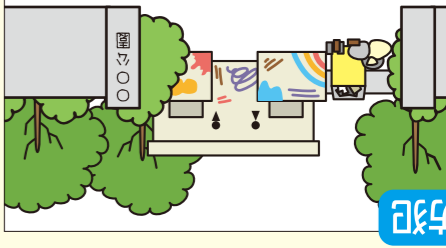


防犯

まとめると... 誰もが「入りやすく」、誰からも「見えにくい」場所

- 人通りの少ない道路やトンネル
- 人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

例えば...




交通安全

まとめると... 「飛び出し」が発生しやすい場所

- 車と車の間
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 信号機のない横断歩道
- 見通しが悪い交差点
- ブロッコリー塀や自動販売機、草木などがあり、

例えば...



1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

どんな危険があるのかな?

考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

避難所の様子を見てみよう (たかつき安全ノートP.36)



避難所は、災害発生時に自宅で生活できなくなった被災者が一定期間過ごすための場所です。避難所での生活は普段の生活とは大きく異なり、さまざまな制限を受け入れて生活しなくてはなりません。そのため、ルールを守り、役割分担をして助け合うことが大切です。避難所生活の様子について考えてみましょう。


- Q1. あなたの避難所はどこですか。
- Q2. 災害発生時、避難所への避難が必要なのはどのような状況のときでしょうか。
- Q3. 普段の生活と避難所での生活を比べてみましょう。

	普段の生活	避難所での生活
食事		
睡眠		
衛生面		

(衛生面…トイレ、お風呂、ゴミの処理など)


セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。



「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。




第二中学校

2 自分の校区を確認しよう



16 交通安全

電柱や木があるため車が見えにくい。

13 防犯

せまい道に樹木が茂っていて見通しが悪く、人の目も少ない。

11 交通安全

押しボタン式の信号がある。ボタンを押して信号が赤(歩行者用信号が青)になっても止まらない車等があるため注意して横断する。

17 交通安全

十字路口であり、色々な所から車・バイクが来るので注意。

14 防犯

緑が丘公園周辺道路は見通しが悪く、夜間は暗い。

12 防災

溜め池には近づかない。

18 交通安全

通学時間帯に交通量が増える。

15 交通安全

名神トンネル内はせまく、自転車も多く、夜間は暗い。

10 防災

横に柵がないので水路に近づかない。

8 交通安全

登下校時を問わず、自転車の通行量が多い。出会い頭の接触事故の危険性が高い。

9 交通安全

せまい路地が続く、朝夕は自転車の通行量が多い。日中は人通りが少ない。

5 交通安全

車の交通量が多い。登下校時間帯の自転車の通行量も多く、せまい歩道を歩行者と自転車とが利用。

1 防犯

木々が生い茂り、人通りも少ない。公園内は薄暗い。

6 交通安全

車の交通量も多く、車道と歩道の境界がないので注意。

2 交通安全

車だけでなく自転車の通行量も多く、猛スピードで坂道を下ってくる。接触事故の可能性が高い。

7 交通安全

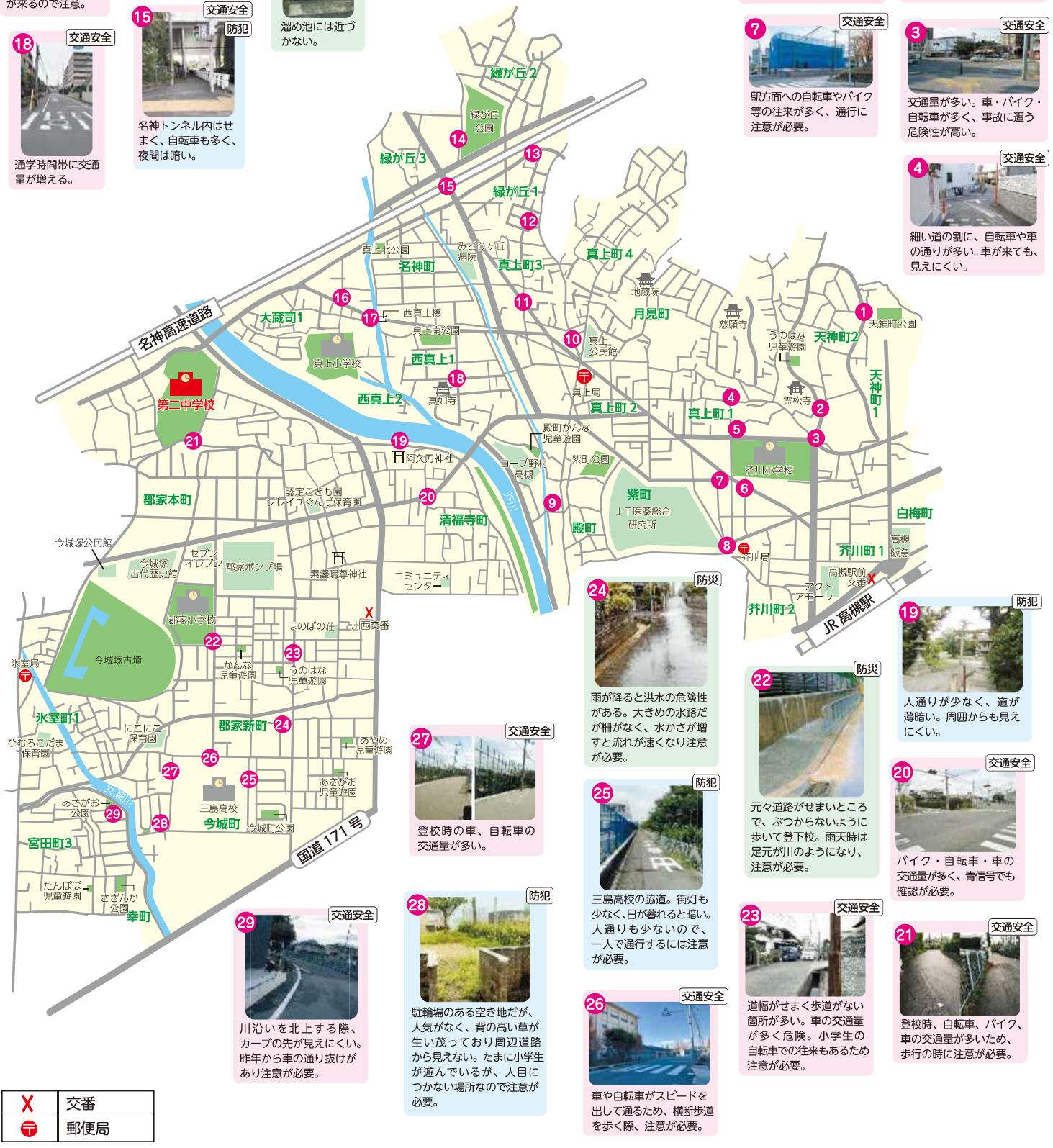
駅方面への自転車やバイク等の往来が多く、通行に注意が必要。

3 交通安全

交通量が多い。車・バイク・自転車が多く、事故に遭う危険性が高い。

4 交通安全

細い道の割に、自転車や車の通りが多い。車が来ても見えにくい。



X	交番
〒	郵便局

地震発生時の避難場所 ()